

悲劇から学ぶこと

2010年8月



2010年4月20日、メキシコ湾内のルイジアナ沿岸沖で操業中の掘削リグ”Deepwater Horizon”で爆発が起き、11人の作業員が死亡したほか、17人が負傷し、おおよそ36時間後にリグは沈没した。この事故で損傷した油井先端からの油の流出量は合衆国史上最大で、世界の重大ニュースとなっている。

このBeaconの執筆中も油は油井から漏れ続けている。この事故の特有の原因を知るにはまだ早すぎ、これから先何ヶ月もいろいろな調査が行われるであろう。

とはいものの、我々全員が自分たちのプラントでどのような悪い事態が起こり得るかを理解する重要性について皆が何を学ぶべきか、また、緊急事態に対応するより良い準備がどのように出来るか、について考えることは決して早すぎるということはない。緊急事態用の手順や装置は頻繁には使用されないつまり、緊急事態は稀にしか起こらない！しかし、それらは起こり得ることなので、我々は常に事故の予兆を確実に認識する方法を理解し、緊急事態用の機器が確実に作動することの確認方法を心得ておく必要があり、また緊急事態に対応する手順の訓練を繰り返し実施しなければならない。

あなたにできること

- ・自分のプラントで起こり得る最悪の事態を見出し、理解すること。
- ・潜在的な重大事故の予兆を認識することを習い覚えること。
- ・もし何らかの予兆を見つけた時に、重大事故防止のための自身の役割を確かめること。
- ・プラント内の大事故に対する防護設備をどのように維持するかを知っておくこと。
- ・プラント内の大事故に対する防護の重要な手順を熟知しておくこと。
- ・大事故が起きた後、自分自身や他人を保護し被害を最小限にするためになすべき事を心得ておくこと。
- ・自分のプラントにおける緊急事態対応手順の訓練や練習を頻繁に実施することにより、実際に事故が起きたときになすべきことを熟知して置くこと。

自分のプラントの緊急事態に対応する方法を心得ていますか？